

LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーション

ご存知ですか？ 日比谷図書文化館の主なサービス

【レファレンスサービス(調べ方の相談)】

調べたいことがあるのに資料の探し方がわからないときには、窓口でご相談ください。さまざまなテーマについての調べ方ガイド(パスファインダー)もご用意しています。

【千代田Web図書館】

インターネット上で電子書籍の貸出・閲覧・返却ができます。※主に区内在住・在勤・在学の方向けのサービスですが、どなたでも閲覧可能なコンテンツもございます。

【オンラインデータベース】★

新聞記事・論文・法律など、調べものに使えらるオンラインデータベースが利用できます。

【インターネットの利用】★

インターネットでの調べもの専用のパソコンを設置しています。

【ナクス・ミュージック・ライブラリー】★

インターネットを通じて、高音質の音源をお聴きになれるオンライン音楽図書館「ナクス・ミュージック・ライブラリー」を利用できます。

【ホール・会議室の貸出(施設貸出)】★

少人数での会議から大勢での講演会などに利用できる会議室やホールがあります。(有料)

★のサービスのご利用には貸出券が必要です。

日比谷ボードゲーム部

今回メインで行うのは、チーム対抗戦のクイズゲーム「クイズの王様」です。「〇〇は、」と「△△である。」の組み合わせで出題された9択の問題から、1つだけ存在する正解を選び、間違っただけを選び続けることで得点を競うゲームです。ボードゲーム未経験の方もお気軽にご参加ください。

- 日時:3月23日(土) 14:00~16:30(13:45開場)
 - 定員:20名(12歳以上)
 - 会場:4階セミナールームA ●参加無料
- 事前申込みが必要です。
お問合わせはホームページまたは
日比谷図書文化館 03-3502-3340(代表)まで

展示 PICK UP

■3F グリーンゾーン

~5/17(金)

神話・伝説・民話

～語り継がれる理由～



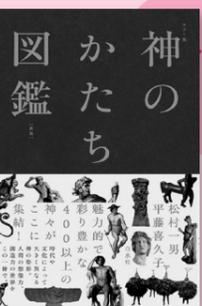
はるか彼方の時代より語り継がれてきた神話・伝説・民話。森羅万象への畏怖、そして不思議への好奇心から生み出された物語は、現代においても廃ることなく、小説・映画・ゲームなど自在に姿を変え、私たちのまわりに息づいています。これらが今なお語り継がれる理由はどこにあるのか、その果てしない魅力を探る展示です。



“創世”から“現在”まで7つのトピックで紹介



日比谷図書文化館にまつわる神話も…?



『神のかたち図鑑』
松村一男、平藤喜久子 編著
白水社
2023年

『災害の神話学
地震、戦争、疫病が
物語になるとき』

沖田 瑞穂 著
河出書房新社
2023年

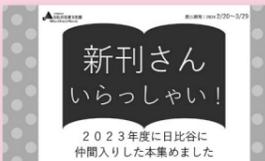


■2F パープルゾーン 三角台

~3/29(金)

新刊さん いらっしやい!

2023年度に日比谷に仲間入りした本を集めました



日比谷図書文化館では、毎週100冊前後の新刊を受け入れています。新刊コーナーの注目度は高く、毎週楽しみにしている方も多く見受けられます。図書フロアの運営上、貸出中の本を除き、新刊は翌週には通常の本棚に配架されます。そこで、今年度、新刊として受け入れた、もう一度見ていただきたい本を集めて展示します。



『子どものデジタル・ウェルビーイング
最善の利益をめざす
国際機関による取り組み』

齋藤 長行 著
明石書店
2023年

『ルポ 差別と貧困の
外国人労働者』

安田 浩一 著
光文社 2023年



3月の展示情報

※展示情報は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン
千代田区観光協会コラボ展示
「ちよだ歴史さんぽMAP」で第2弾
「浮世絵名所」(～3/15)

千代田区観光協会が発行している「ちよだ歴史さんぽMAP②ちよだ浮世絵名所めぐり」を取り上げ、関連書籍を紹介します。パンフレットの内容をより深く知ることによって千代田区の歴史や観光、さらに浮世絵を身近に感じてもらう展示です。

3F ブルーゾーン
「禁-taboo-」(～6/14) NEW!

古来より社会で忌み嫌われ、避けられてきた事柄を「タブー(taboo)」といます。今回の展示では従来の文化規範的な禁忌や、現代社会で禁止・隠匿されている事柄、文学や美術の歴史において発禁・検閲された資料に関する本を紹介します。

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

春のまつり
【千代田のさくらまつり】

千代田区には千鳥ヶ淵をはじめとする桜の名所が数多く存在します。毎年、桜が咲く時期になると開催される「千代田のさくらまつり」は1955(昭和29)年から始まった千代田区を代表するイベントです。期間中にはライトアップや、お濠の水上から夜桜を堪能できる「区営千鳥ヶ淵ポート場」の夜間営業などが行われ、毎年国内外からお花見を楽しむ人たちが賑わいます。

※2024年の開催情報は3月上旬ごろ発表となります。



「東京名所筋違萬代橋図」(安藤広重画 / 明治期)

【ひなまつり】



ひなまつりの起源には諸説あるようですが、災厄をはらう行事であった「上巳(じょうし)の節句」と紙などで作った人形を川に流し厄や災いを清める風習が合わさり変化していったものといわれています。江戸時代になると、雛人形を飾り子どもの成長と健康を願う、ひなまつりが広く伝わり行われるようになりました。日比谷図書文化館1階のロビーでは、今年も雛壇を飾っています。最近では家庭で飾ることが難しくなった七段飾りの雛人形を是非ご覧ください。

丸の内でお雛さま

2022年10月に丸の内にある明治生命館1階に誕生した「静嘉堂@丸の内」では三菱第四代社長・岩崎小彌太(1879-1945)が孝子夫人のために詠えた「岩崎家雛人形」などご覧いただける展覧会を開催中です。

岩崎家のお雛さま

- ◆会期:開催中～3月31日(日)
※休館日:月曜日(ただし3月4日はのぞく)
- ◆会場:静嘉堂文庫美術館(静嘉堂@丸の内)
(千代田区丸の内2-1-1明治生命館1階)
- ◆開館時間:10:00～17:00
(毎週土曜～18:00、第4水曜～20:00)
- ※入館は閉館の30分前まで
- ◆入館料:1500円(大学・高校生1000円、中学生以下無料)



五世大木平藏《岩崎家雛人形》のうち内裏雛 / 昭和時代初期(20世紀)

静嘉堂HP→



calendar 開館時間:平日10時～22時 ■土曜10時～19時 ■日祝10時～17時 ■休館日

2024年 3月							2024年 4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	1	2	3	4	5	6	
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30				

掲載されている内容について変更や中止となる場合があります。最新情報は、ホームページ等をご確認ください。



access

- 〔都営地下鉄〕
 - 三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
 - 〔東京メトロ〕
 - 丸の内線
 - 日比谷線
 - 「霞ヶ関駅」B2出口徒歩3分
 - 千代田線
 - 「霞ヶ関駅」C4出口徒歩3分
 - JR「新橋駅」徒歩10分
- ※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

3・4月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

3/1 (金) 時をかけて、映画音楽の歴史の旅へ アカデミー賞受賞作の素晴らしき音楽世界

講師：志田 一穂 (ラジオDJ、文筆家)

1929年から始まった米国アカデミー賞授賞式。時代を重ねていく度にその式典は華やかさを増していき、現在では年に一度の映画祭典として親しまれています。その受賞作品を彩る音楽たちですが、そもそも当初は作曲賞、歌曲賞といった部門はありませんでした。ではそれはいつから始まったのでしょうか。今回もそんな秘話と解説とともに、映画と音楽を楽しく紹介していきます。



- 日時：3月1日(金)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：1000円

3/8 (金) アートイラストレーター杉全美帆子が語る ルネサンスの真の立役者 知られざる3人の天才

講師：杉全 美帆子 (作家・イラストレーター)

ダ・ヴィンチやミケランジェロからルネサンスのスーパースターが生まれる一世代前、因習を打破し、「近代」への歩みを始めた3人の天才がいました。建築のブルネレスキ、彫刻のドナテッロ、絵画のマザッチョ。革命的な仕事を成し遂げた3人は友人同士でもありました。彼らの偉業と人となりエピソード・イラストをふんだんに用いてご紹介します。



©SUGIMATAMIHOKO

- 日時：3月8日(金)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：1000円

3/9 (土) 東京製本倶楽部25周年 内田嘉吉文庫の一冊 装訂に秘められた書物をめぐる物語

講師：雪嶋 宏一 (早稲田大学名誉教授)

内田嘉吉文庫に収蔵された19世紀のパネル装訂が施された一冊であるエルフィンストーン『カーブル王国誌』(1815年刊)は著者、出版に貢献した人物、それを受け継いだ人たち、そして内田嘉吉が入手するまでの経緯がわかる珍しい書物であり、この内田本は世界的にも大変貴重な存在です。本書の出版の経緯と成立、そして本書の来歴に秘められた物語を解き明かします。



- 日時：3月9日(土)14:00～15:30(13:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■ 参加費：1000円

3/14 (木) 日比谷オペラ塾 オペラ・あ・ら・かると bis エリザベス朝3部作(ドニゼッティ)とその時代

講師：石井 美樹子 (神奈川大学名誉教授)

オペラ初心者から愛好者までが楽しめる多彩なオペラの魅力を縦横に紹介します。3月はドニゼッティのエリザベス朝3部作を通して、その時代背景などをイギリスの王朝に詳しい英文学者の神奈川大学名誉教授の石井美樹子氏がお話します。(主催：フェニーチェ劇場友の会、共催：日比谷図書文化館)



ガエターノ・ドニゼッティ (1797-1848)

- 日時：3月14日(木)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■ 参加費：1500円

3/15 (金) コンテンツビジネスのいまを知る② グローバルヒットに成功した韓国ドラマ制作の戦略：日本のこれからを問う

講師：金 承美 (特定非営利活動法人 映像産業振興機構 (VIPO) 経営企画部、専修大学非常勤講師)

新しいコンテンツプラットフォームの出現により、映像コンテンツ業界の構造が大きく変わりつつあるなか、新しい環境にて早く新しいビジネスモデルで対応し、世界的なヒット作を次々世に出している韓国。韓国の映像コンテンツ制作会社のシステムを知り、日本のドラマ制作の展望について考えます。



- 日時：3月15日(金)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■ 参加費：1000円

3/17 (日) こども体験教室「蒔絵キーホルダーをつくろう」

講師：玉川 みほの (東京藝術大学大学院 文化財保存学専攻 保存修復工芸研究室 教育研究助手)

江戸時代、徳川家康が幕府を開いたことで、多くの蒔絵師が江戸に集まりました。江戸城内では將軍家の婚礼調度品にも蒔絵が用いられ、技術や表現方法が発展しました。今回の講座では、江戸で発展し、現代にも受け継がれる蒔絵について、その華やかで繊細な技法を、親子で楽しく体験いただきます。(主催：千代田区、共催：日比谷図書文化館)



- 日時：3月17日(日)13:00～15:30(12:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：10組20名(対象：小学3年生～6年生の親子(千代田区内在住・在学者優先)。応募者多数の場合、抽選。)
- 参加費：1組 1000円
- ※募集期間：2月5日(月)～3月4日(月)
- ※日比谷図書文化館ホームページのお申し込みフォームからお申し込みください。

3/21 (木) 上廣・日比谷ライブラリー・レクチャー 私のチャレンジ人生 第4回 いい人生だったと思いたいから ～コンプレックスからの出発～

講師：石川 牧子 (フリーアナウンサー)

言葉の劣等感からアナウンサーに憧れ、勉強してなんとかアナウンサーになることが出来たという石川氏は、仕事場ではNOと言わずなんにでも取り組み、戦地にも赴き、60歳を過ぎてからはシニア層に人気コーラスグループのライブコンサートの司会を務める傍ら、これまでの経験を役立てたい思いで7つの団体に活動をしています。様々なことにチャレンジしている石川氏がチャレンジ人生をお話します。(主催：公益財団法人 上廣倫理財団、共催：日比谷図書文化館)



- 日時：3月21日(木)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：500円(千代田区民・学生は無料)
- ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

3/30 (土) 中学生・高校生対象 好きなことと生きていく～美大藝大アーティスト編

講師：伊藤 久美子 (美術作家、藝大アートプラザキュレーター)

受験倍率の高さやユニークな入試問題が話題となる東京藝術大学は、多様な表現を追求するアーティストを輩出しています。同じ藝大生でありながらも、大学までの道のりも、ここからの未来も一人ひとり違います。美術予備校や入試、大学の授業、アーティストになるまでの実際を語ります。



講師 個展会場の様子

- 日時：3月30日(土)14:00～15:30(13:30開場)
- 会場：4階 セミナールームA(会議室) ■ 定員：20名 ■ 参加費：無料

4/16 (火) マンガの“いま”を考える② マンガでわかる「病」の捉え方 —「医療マンガ」の社会機能とマンガ表現の可能性

講師：中垣 恒太郎 (専修大学文学部教授)

多様な発展を遂げている医療マンガの世界を通して現代社会の様々な問題が浮かび上がってきます。介護や障がい、メンタルヘルスなどの周辺領域を包括した生存学、健康人文学、グラフィック・メディシンの概念を参照しながら広義の医療マンガの現在形を展望し、その社会的機能、表現の可能性を探ります。



『日本の医療マンガ50年史 マンガの力で日本の医療をわかりやすくする』(SCICUS)

- 日時：4月16日(火)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■ 参加費：1000円

From Chiyoda Public Library【千代田区立図書館からのお知らせ】

千代田区内 中学校・高等学校 展示 in 千代田図書館

千代田区内の中学校・高等学校に、千代田図書館の展示スペースを成果発表の場として活用いただき、各校の個性が光る学校活動をご紹介します展示を今年度も実施します。関連資料やおすすめの図書とともに、ぜひご覧ください。

【日程・出展校】

- 3月3日(日)～17日(日)
「白百合学園中学高等学校 文芸部・図書委員会」
- 3月18日(月)～4月1日(月) ※3月24日(日)は休館日
「三輪田学園中学校・高等学校 中学図書委員会」
- 4月2日(火)～16日(火)
「共立女子中学高等学校 図書委員会」

【場所】

- 千代田図書館9階 第2展示ウォール



昨年度の展示の様子

4/26 (金) 江戸歴史講座 第78回 徳川家康は活字人間だった!! —江戸時代の印刷・出版文化

講師：緒方 宏大 (TOPPANホールディングス株式会社 印刷博物館 学芸員)

徳川家康には、書物を愛し、印刷・出版事業を行ったもう一つの顔がありました。そんな活字人間としての一面を、家康が行った伏見版木活字と駿河版銅活字による印刷・出版事業を中心に紹介します。あわせて、家康がもたらした江戸時代の印刷・出版文化の発展についてもお話します。



駿河版銅活字

- 日時：4月26日(金)19:00～20:30 (18:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：1000円(千代田区民500円)

3月31日(日)まで!

特別研究室企画展示

内田嘉吉文庫に見る 民族衣装の世界

—19世紀・服飾による異文化との出会い—



『The history of Java 1』(1817年)

15世紀から始まった大航海時代以降、ヨーロッパの人々はアジア、アフリカ、中東を探検し、風土、慣習、宗教など様々な異文化と出会いました。それらを記録した内田嘉吉文庫の所蔵資料には各地の民族衣装の図版も収められています。本企画では主に19世紀に出版された本に掲載されたヨーロッパの人々が描いた民族衣装、また、幕末期、外国との往来が盛んになったことで日本人が描いた海外の民族衣装の資料を紹介します。

- 期間：開催中～3月31日(日) ※休館日3月18日(月)
- 開室時間：平日10:00～20:00、土曜10:00～18:00、日曜・祝日10:00～16:00
- 会場：4階特別研究室

【主な展示図書】

- 『Costume of the Russian Empire』(1811年)
- 『The history of Java 1』(1817年)
- 『海外人物輯』(1854年)ほか

入場無料